

ルコートなら2面の利用が可能で、平日の夜間や土曜日・日曜日を中心にバレーボールやバドミントンなどに利用されています。

また、構内には、歩道を整備し、ソメイヨシノや山桜等の季節の花木を植栽するなど、地元の憩いの場として親しまれるよう整備しており、散歩やジョギング等で利用されています。

イ 活用状況と今後の取組

公園や体育館について、監視員・住民協議会の方々へのアンケートの結果では、公園などについて「利用したことがない」41%であり、「知らない人」12%とあわせて、約53%の方が利用したことがないという結果となっています。

平成18年度の三ヶ山緑地公園の団体利用者数は3,661人（ただし占有利用者数のみ）となっています。三ヶ山体育館については、1,954人（ただし利用開始は18年7月から）となっています。

また、地元寄居町役場、小川町役場への、公園等の評判や利用状況へのアンケート結果は、以下のとおりとなっています。

Q 公園・緑地施設として、三ヶ山緑地公園（サッカー場、ちびっ子広場、風の砦）、防災調節池、体育館などを整備しているが、地域住民からの評判はどうか。

〔寄居町〕

運動や憩いの場としての公園は、寄居町運動公園が折原地内にあるが少し遠いため、鉢形・男衾の地域住民からは、散策や運動等に利用され喜ばれている。また、体育館についても同様である。

（開催実績や開催計画）

地域住民が広く利用している。特に子供のサッカー教室やサッカーの試合地元のハイキングやグランドゴルフ等実施されている。

〔小川町〕

小川町の住民で、三ヶ山緑地公園等を利用している人は少ない。広報等の周知があまり行われていないこともあり、数団体（サッカー、陸上競技等）が年に数回利用しているに留まっている。利用に際しては、あれだけの施設が無料で借りられるのは良いが、風向きにより臭いが若干気になる。入り口に警備員がいるので、ちょっと入りづらいという人もいる。

（開催実績や開催計画）

シニアサッカー大会、陸上スポーツ少年団の合宿練習に利用されたことがあるとのこと。今後の計画は、現時点においては把握できません。

今後の公園等の利用の促進については、住民協議会や町と協力して、広報などに努めていく必要があります。また、施設の特性を生かし、環境学習の機会の提供や、地域が参加できるイベントの開催など、利用の向上と地域への貢献に役立っていく方策も、あわせて検討していく必要があります。

なお、今後の利用に関する監視員・住民協議会の方々へのアンケート結果